

平成30年7月13日

パネル展「火星大接近と西郷星」の開催について

今年は2年2か月ごとに起こる火星接近の年にあたり、特に今回は2003年以來の大接近となります。(7月31日(火)が最接近)

当館では、火星大接近はどのような理由で起こるのか、大接近時に火星はどのように見えるのか、などを解説するパネル展「火星大接近と西郷星」を開催しています。

1877年の大接近時には、アメリカでは天文学者・ホールが火星の2つの衛星を発見。日本では明治10年、西南戦争中で、「望遠鏡で火星を見ると、西郷隆盛が見える。」と話題となり、新聞記事や錦絵になりました。これらを紹介し、西郷星の錦絵(実物)を展示します。

1 目 的

火星大接近に合わせて、接近の原理、最近の火星探査の成果によりわかってきた火星の表面地形など火星の科学について解説する。また、過去の大接近時の火星観測やエピソードについて紹介することで、太陽系や宇宙に目を向けてもらうことを目的とする。

2 開催期間

平成30年7月7日(土)～9月2日(日) (休館日7月17日～20日)
※ 開館時間 午前10時～午後5時

3 会 場 コニカミノルタ サイエンスドーム (こども科学館 大横町9-13)

4 入 館 料 大人 200円、4歳～中学生 100円

5 展示内容

火星大接近のしくみ、火星のさがし方、火星の表面、ホールの衛星発見、イタリアの天文学者スキアパレッリの観測、火星への旅などについてパネルで解説。西郷星錦絵(実物)の展示。



<問い合わせ> 生涯学習スポーツ部

こども科学館 館長 遠藤

(コニカミノルタ サイエンスドーム)

TEL 042-624-3311

<錦絵「西郷星」(部分)>

人々が西郷星に願い事をしている